

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

| | |
|---------------------------------|--|
| 研究課題名 (整理番号) | 角膜形状異常疾患に対するコンタクトレンズ治療について単施設後方視的研究 (B26-012) |
| 当院の研究責任者 (所属・職位) | 医学部眼科学 主任教授 庄司信行 |
| 他の研究機関 および 各施設の研究責任者 | なし |
| 本研究の概要・ 背景・目的 | 角膜形状は視力矯正の主要な機能を持っています。角膜形状に異常をきたすと不正な乱視が生じて矯正視力が低下します。角膜形状異常の代表的疾患には円錐角膜がありますが、それ以外にもペルシード辺縁角膜変性症があります。また角膜移植術後や屈折矯正術後、眼の外傷後にも角膜形状異常をきたします。北里大学病院眼科では以前より角膜形状異常疾患の視力矯正に非球面カーブハードコンタクトレンズ (HCL) と多段階カーブ HCL と呼ばれる特殊な HCL を使用しています。本研究の目的は角膜形状異常疾患の角膜形状と CL 治療状況の関係性について検討することです。 |
| 調査データ 該当期間 | 2000年1月1日から2026年3月31日までの情報を調査対象とします。 |
| 対象となる患者さん | 上記期間内に北里大学病院でペルシード辺縁角膜変性症、角膜移植術後、不正乱視症例、眼外傷後の診断をうけた方。 |
| 研究の方法 (使用する試料等) | 2000年1月1日から2026年3月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。 日常診療で行った患者さんの球面度数・乱視度数・角膜屈折値・角膜厚・角膜内皮細胞・角膜高次収差・裸眼視力・矯正視力・細隙灯顕微鏡検査・使用コンタクトレンズ種類・コンタクトレンズ装用時間。 |
| 試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法 | 他の機関への試料・情報の提供はありません。 |
| 利用又は提供を開始 する予定日 | 利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 本研究の遂行のための費用は、眼科学医局研究費を使用します。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。 |
| お問い合わせ先 | 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができ |

ない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属・職位：医学部眼科学 助教

担当者：円谷 康祐（ツムラヤ コウスケ）

電話： 042-778-8429

備考